

第三セクターの経営情報について

資料 3

令和4年8月18日

港湾空港局港営課

報告対象団体		小倉国際流通センター株式会社	
会社概要	会社の概要	不動産（高度化倉庫）の賃貸業 〔 所有施設の概要 営業開始：平成12年9月1日 規模：延床面積14,596㎡ 構造：鉄骨造2階建 〕	
	資本金額	465,000	千円
	本市の出資額	20,000	千円
	本市の出資割合	4.3	%
	従業員数	1	人
営業報告の要点		小倉国際流通センターを運営し、テナント3社に倉庫貸付を行った。 引き続き、経費の削減に努め、老朽化した倉庫内設備の改修に重点を置き、設備の健全な維持管理を図っていく。 当期の売上高は、77,948千円（前期比 ±0千円）となった。	
収支状況の要点	当期純利益	5,037	千円
	前年度との比較	○営業利益は、9,500千円で、前期比 632千円の減益（-6.2%）となった。 ○経常利益は、9,501千円で、前期比 631千円の減益（-6.2%）となった。 ○当期純利益は、5,037千円で、前期比 203千円の増益（+4.2%）となった。	
	その他 （剰余金・欠損金、設備投資、資金調達など）		
繰越利益剰余金		47,836	千円
監査報告		監査役1名が監査を実施した結果、適法かつ正確であった。	
株主総会 （令和4年6月23日開催）	議案	(1) 決議事項 第1号議案 第25期(令和3年度)営業報告について 第2号議案 第25期(令和3年度)決算報告について 第3号議案 第26期(令和4年度)事業計画(案)について 第4号議案 取締役任期満了による取締役選任について いずれの議案も異議なく承認可決	

(令和4年3月31日現在)

第 2 5 回

定 時 株 主 総 会

令和 4年 6月 23日
於 小倉港湾労働者休憩所

小倉国際流通センター株式会社

目 次

第1号議案	第25期（令和3年度）営業報告について	… 1～4
第2号議案	第25期（令和3年度）決算報告について	… 5～11
第3号議案	第26期（令和4年度）事業計画（案）について	…12～15
第4号議案	取締役任期満了による取締役選任について	…16

第 25 期

営 業 報 告 書

4

11

15

16

自：令和 3 年 4 月 1 日
至：令和 4 年 3 月 31 日

小倉国際流通センター株式会社

1 営業報告

(1) 営業概況

平成12年9月1日に営業を開始し、22年目を迎えた今期、504万円の純利益（税引前で950万円）を計上した。内 建物及び設備の老朽化に伴う修理費用の増加を見込み、年間360万円の修繕引当金を計上し、平成27年度からの7年間にて累計2,180万円の修繕引当金の積増となった。

今年度は大型設備補修工事等も発生せず、少額補修工事のみで修繕費の低減が図れ収益を確保した。

(2) 営業方針

「収益向上の事業運営と今後の経営方針の確立」

(3) 主要な事業概要

不動産の賃貸業

北九州港における物流機能の整備についての調査及び研究に関する業務

北九州港への航路誘致、集荷のための情報収集、調査及び研究に関する業務

前各号に付帯または関連する一切の業務

2 令和3年度経営課題の総括

(1) 確実な設備点検による修理費の軽減と今後の課題

自家用動力設備、大型重量シャッター（高さ 3.200m・幅 10.000m）、エレベーター、垂直搬送機及び消防設備等の主要設備はメーカーによる定期的な点検・診断を実施し、設備の状態管理が出来る体制となった。今後も定期的な状態監視を行い異常部の早期発見と設備の保守管理に努める。

一方平成30年に、「北九州市次世代エネルギー設備導入促進事業における補助金制度」を活用して倉庫（水銀灯）・事務所（蛍光灯）等 510 台の照明を LED 器具に交換したが、電気料金は平成29年度対比で年間約229万円の費用減となり削減効果を継続している。

今後も、設備の維持管理を行い、計画的な倉庫内設備の保守を進めていく。

(2) 稼働率向上に向けた倉庫利用者への協力要請

引き続き顧客へ尽力をお願いした。

3 総務の概況

(1) 総会及び取締役会開催

令和 3年5月25日

第80回 取締役会

- 第24回株主総会 決算書類の承認
- 総会付議議案の決定

令和 3年6月23日

第24回定時株主総会

- 第24期決算報告
- 第25期事業計画報告
- 取締役辞任による取締役選任の件
- 監査役辞任による監査役選任の件

(2) 登記に関する事項

令和 3年6月23日

役員に関する事項

(取締役辞任に伴う就退任)

取締役	小 石 裕 洋	新任
取締役	那 口 洋	新任
取締役	東 田 重 樹	退任
取締役	黒 沢 崇	退任

(監査役辞任に伴う就退任)

監査役	大 塩 航 也	新任
監査役	榊 原 祥 浩	退任

株利益
の増
収にて

収れ収

ミータ
所を実
異常部

5補助
器具に
削減

4 会社の概況

(1) 株式の状況

① 会社が発行する株式の総数 10,000株

② 発行済株式総数 9,300株

③ 当期末株主総数 11名

④ 株主の状況

株主名	持株数(株)	持株比率(%)
株式会社上組	1,600	17.20
山九株式会社	1,600	17.20
鶴丸海運株式会社	1,600	17.20
日本通運株式会社	1,600	17.20
山田港運倉庫株式会社	1,600	17.20
日鉄物流八幡株式会社	400	4.30
北九州市	400	4.30
株式会社三菱UFJ銀行	400	4.30
株式会社福岡銀行	30	0.33
株式会社みずほ銀行	30	0.33
株式会社西日本シティ銀行	40	0.44
合計	9,300	100.00

(2) 従業員の状況

	従業員数	備考
男子	1名	但し、業務委託先職員
女子	0名	
合計	1名	

(3) 企業結合の状況…特に該当なし

(4) 長期借入金の返済状況と借入残高…なし

貸借対照表

令和 4年 3月31日 現在

(単位：円)

資 産 の 部		負 債 の 部	
科 目	金 額	科 目	金 額
【流動資産】	151,002,049	【流動負債】	9,254,054
現金預金	136,711,479	未払金	840,054
売掛金	14,290,570	未払法人税等	3,601,000
【固定資産】	392,888,858	未払消費税等	4,813,000
【有形固定資産】	392,190,888	【固定負債】	21,800,000
建物	997,372,574	修繕引当金	21,800,000
建物附属設備	121,130,000		
構築物	35,782,000	負債合計	31,054,054
機械装置	55,586,000	純資産の部	
工具器具備品	1,884,000	【株主資本】	512,836,853
減価償却累計額	△819,563,686	[資本金]	465,000,000
【無形固定資産】	145,070	[利益剰余金]	47,836,853
電話加入権	145,070	(その他利益剰余金)	(47,836,853)
【投資その他の資産】	552,900	繰越利益剰余金	47,836,853
長期前払費用	552,900	純資産合計	512,836,853
資産合計	543,890,907	負債・純資産合計	543,890,907

損 益 計 算 書

自 令和 3年 4月 1日

至 令和 4年 3月31日

(単位：円)

科 目	金 額	
【売 上 高】		
売 上 高	77,948,592	77,948,592
売 上 総 利 益		77,948,592
【販売費及び一般管理費】		68,448,126
営 業 利 益		9,500,466
【営業外収益】		
受 取 利 息	1,085	
雑 収 入	238	1,323
経 常 利 益		9,501,789
税引前当期純利益		9,501,789
法人税、住民税及び事業税		4,464,371
当 期 純 利 益		5,037,418

販売費及び一般管理費

自 令和 3年 4月 1日

至 令和 4年 3月31日

(単位：円)

科 目	金 額	額
福 利 厚 生 費	40,000	
旅 費 交 通 費	29,502	
通 信 費	114,063	
租 税 公 課	7,856,600	
消 耗 品 費	13,079	
事 務 用 品 費	17,221	
修 繕 費	1,989,000	
保 險 料	234,334	
支 払 手 数 料	32,850	
減 価 償 却 費	36,284,613	
外 注 労 務 費	3,000,000	
水 道 費	121,624	
電 力 費	3,547,545	
地 代 家 賃	10,171,624	
諸 会 費	6,000	
修 繕 引 当 金 繰 入	3,600,000	
雑 費	1,390,071	68,448,126
合 計		68,448,126

株主資本等変動計算書

自 令和 3年 4月 1日
至 令和 4年 3月 31日 (単位：円)

	株主資本										純資産合計	
	資本剰余金			利益剰余金			自己株式	株主資本合計	利益剰余金合計	純資産合計		
	資本金	資本準備金	資本剰余金 合計	資本準備金	任意積立金	その他利益剰余金 繰越利益剰余金						
当期末残高	465,000,000					42,799,435			42,799,435		507,799,435	507,799,435
当初変動額												
当期純利益									5,037,418		5,037,418	5,037,418
当期変動額合計									5,037,418		5,037,418	5,037,418
当期末残高	465,000,000					47,836,853			47,836,853		512,836,853	512,836,853

個 別 注 記 表

自 令和 3年 4月 1日

至 令和 4年 3月31日

重要な会計方針に係る事項に関する注記

1. 固定資産の減価償却の方法

有形固定資産・・・建物は定額法、その他は定率法を採用しております。

無形固定資産・・・定額法を採用しております。

2. 重要な引当金の計上基準

倉庫内物流関連機械装置修理に要する修繕費用の支出に備えるため、その発生見込額のうち当会計年度に負担すべき金額を計上しております。

3. その他計算書類の作成のための基本となる重要な事項

消費税の会計処理は税抜き方式によっております。

株主資本等変動計算書に関する注記

1. 当期末における発行済株式数

普通株式・・・9,300株

監 査 報 告 書

私は、令和3年4月1日から令和4年3月31日までの第25期営業年度の貸借対照表、損益計算書、営業報告に関する議案および付属明細書を監査しました結果、適正かつ正確であると認めます。

令和 4年5月17日

小倉国際流通センター株式会社

監査役 大 塩 航 也



第26期 事業計画

自：令和4年 4月 1日

至：令和5年 3月 31日

小倉国際流通センター株式会社

1 令和4年度の財務及び施設運営方針

(1) 財務上の取り組み

令和3年度における純利益は504万円を計上することができ、今年度への繰越利益剰余金は4,784万円となっている。

令和4年度においては、資金余力を活かし老朽化した倉庫設備の改修に重点を置き、設備の健全な維持管理を図っていく。

又過去実績対比にて全設備510灯のLED照明化により年換算229万円のコストが削減され効果の継続とコスト管理を図る。

(2) 施設管理・運営上の取り組み

ア 完成から23年が経過し、施設の老朽化や設備の故障が増加する傾向にある。倉庫作業に直結する主要設備は平成26年度より段階的に補修や老朽更新を行い、喫緊の設備対策はほぼ完了した。

平成4年度は、点検保守管理による各設備の状態監視を継続し修繕費引当金を活用した経年劣化部の補修等、長寿命化対策に向けた施設管理に取り組む。

(主要設備・施設)

・自家用動力設備	1式
・消防設備	1式
・エレベーター(構内リフト昇降)	1基
・垂直搬送機(入出庫製品の横移動と昇降)	3基
・ドックレベラー(エプロン上下調整)	9基
・倉庫エプロン重量シャッター(3.2m×10m)	11枚
・倉庫内重量シャッター	6枚

イ 稼働率100%を維持していくため、引き続き顧客確保の尽力をお願いしていく。

2 令和4年度予定損益計算書

(単位：円)

科 目	令和3年度 実 績	令和4年度 計 画	増 減
[売上高]	77,948,592	77,948,592	0
[販売費及び一般管理費]	68,448,126	71,977,119	3,528,993
営業利益	9,500,466	5,971,473	△3,528,993
[営業外収益]	1,323	1,051	△272
受取利息	1,085	914	△171
雑収入	238	137	△101
経常利益	9,501,789	5,972,524	△3,529,265
[特別利益]	0	3,310,000	3,310,000
修繕引当金戻入金	0	3,310,000	3,310,000
[特別損失]	0	0	0
固定資産除却損	0	0	0
[税引前当期純利益]	9,501,789	9,282,524	△219,265
[法人税等]	4,464,371	4,381,000	△83,371
当期純利益	5,037,418	4,901,524	△135,894
繰越利益剰余金	47,836,853	52,738,377	4,901,524

3 令和4年度予定一般管理費

(単位：円)

科 目	令和3年度 実 績	令和4年度 計 画	増 減
福利厚生費	40,000	70,000	30,000
旅費交通費	29,502	35,000	5,498
接待交際費	0	0	0
通信費	114,063	114,000	△63
租税公課	7,856,600	8,190,200	333,600
消耗品費	13,079	13,000	△79
事務用品費	17,221	19,000	1,779
賃借料	0	0	0
修繕費	1,989,000	5,654,000	3,665,000
保険料	234,334	245,734	11,400
支払手数料	32,850	33,150	300
減価償却費	36,284,613	35,630,411	△654,202
外注労務費	3,000,000	3,000,000	0
水道費	121,624	125,000	3,376
電力費	3,547,545	3,620,000	72,455
地代家賃	10,171,624	10,171,624	0
修繕引当金繰入	3,600,000	3,600,000	0
雑費	1,390,071	1,450,000	59,929
計	68,448,126	71,977,119	3,528,993

第 4 号議案

取締役任期満了による取締役選任について

取締役任期満了による取締役 鶴丸俊輔、徳光昌己、山田康一郎、深江昭一、那口洋、小石裕洋は、本総会終結の時をもって辞任致しますので、新たに取締役、6名を選出する。

なお、取締役候補は下記のとおりである。

役 職	氏 名	現在の主たる職業	所有する株式の数	当社との利害関係
取締役（重任）	鶴丸 俊輔	鶴丸海運株式会社 代表取締役社長	0	なし
取締役（〃）	徳光 昌己	山九株式会社 北九州支店 支店長	0	なし
取締役（〃）	山田康一郎	山田港運倉庫株式会社 代表取締役社長	0	なし
取締役（新任）	山並 博光	株式会社 上組 八幡支店 支店長	0	なし
取締役（重任）	那口 洋	日本通運 株式会社 ひびき海運支店 支店長	0	なし
取締役（新任）	宮金 満	北九州市港湾空港局 港営部長	0	なし